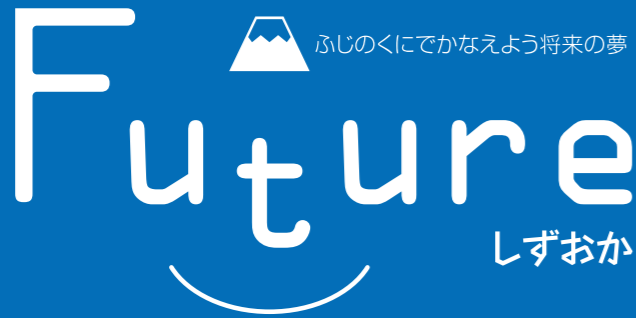


静岡県の地域企業発見企画



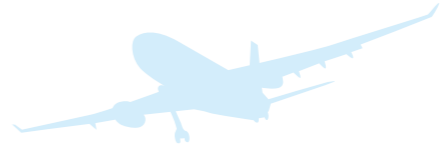
# 若者みんなの元気が 静岡を元気に

## 静岡県の魅力と地域企業を知ろう

ガイドブック発刊  
2014年10月下旬予定

Webスタート!  
<http://www.future-sz.com>

Futureしずおか



# Kazunari Suzuki

株式会社エステック  
製造課 鈴木 一成 (すずき かずなり)

1981年7月生まれ。伊豆の国市に生まれ育ち、2005年に株式会社エステックへ入社。「エステックを世界一の企業にしたい」と熱く仕事に取り組んでいますが、休日には「家族みんなを連れてあちこち出掛けるのが好き」という良きパパです。

### 「Futureしずおか」とは

「若者に静岡県の優秀な企業を知り、働いてもらいたい。そうすることが、企業の発展や地元経済の底上げにつながり、静岡全体が発展する」。『Futureしずおか』は、このような静岡の未来を明るく元気にするプロジェクトです。プロジェクトでは、インターネット、ガイドブック、新聞特集を組み合わせ、複合的に地域の企業情報を発信します。特に進路選択を具体的に考える県内の高校1年生には、全員にガイドブックを配布するとともに、キャリアアップセミナーや会社見学会などの機会も提供し、静岡県が夢を実現できるステージであることをアピールしていきます。

# 世界へ羽ばたけ！ 空飛ぶものづくり

『Futureしずおか』プロジェクトは、県内の各分野で活躍する若者にスポットを当てています。

## 今回注目したのは、『ジェット★ボーイズ』

株式会社エステック(駿東郡清水町)で、高難度といわれる航空宇宙機金属部品を製造している若者たちです。世界有数のものづくりを、平均年齢32.5歳という若手中心の中小企業が展開していることから、現在エステックには航空宇宙産業界より熱い視線が注がれています。若手のリーダー的存在・鈴木一成さんに、きっかけや空飛ぶものづくりの現場、想いなどを語ってもらいました。

### チャンス

子どもの頃、「パイロットになりたい」という夢をもっていた時期もありましたが、そんなこともすっかり忘れ、「きちんとした会社で働けるなら、どこでもいい」という気持ちで就職先を探していたとき、「工場冷暖房完備・残業時軽食有り」にひかれて応募したのが現在の会社です。

じつは、1回目に問い合わせたときは応募を締め切った後で、断られました。ところが後日再募集があり、2回目のチャレンジで入社することができたのです。できればデスクワークではなく、工場でものづくりの仕事をしたいので、「あきらめなくてよかった。この会社とは縁がある」と思いました。

### ミッション

ボーイング787、ステルス戦闘機、小惑星探査機はやぶさ2、気象衛星ひまわり搭載H2ロケット、宇宙ステーション補給機HTV等々。現在はこうした宇宙・航空関連機の主要金属部品をつくっています。

金属加工工場は世の中にたくさんありますが、仕事の善し悪しは寸法をきちんと出すこと、仕上がりの美しさに決まります。

### スキル

今でこそ高難度のものづくりをしているという認識がありますが、入社当時は何の技術も知識もない素人です。難しいと思う余地もなく、早く一人前になりたい一心で、文字通り寝る間も惜しみ、工具をつくる練習をしました。熟練の先輩社員から技を教わるわけですが、いわゆる職人修行のような感じではなく、蓄積されたノウハウに基づく、理路整然とした指導なので、約2年で職人的な技術を身につけることができました。

入社して5年目からはコンピュータでマシンのプログラムもつくっています。もともとパソコンにも興味があったので、こちらにも先輩に教わりながら一から覚えました。職人的な技術とコンピュータを使って考える作業、両方完璧にできて初めてひとつの部品をつくることができます。

### プライド

「次はこれをつくって欲しい」と、社長から図面を見せられ、あまりの難しさに泣きそうになることがあります(笑)。宇宙航空機業界は守秘義務のある仕事が多く、自分たちも何の部品か知らぬまま完成させるケースがほとんどです。一般発表された後で、「あれはこのロケットの部品だったんだ！」などと驚き、同時に、誇らしい気持ちになります。何度も泣きたいくらい難しいものを完成させてきた今は、「自分たちにも加工できないものはない！もっと難しいものでも完璧につくってみせる！」と思っています。

今日もこの手でつくった部品を載せた飛行機やロケットが空へ、宇宙へ飛び立っていることでしょう。パイロットにはならなかったけれど、夢はそれ以上に叶ったと思っています。

